

## 「河川協力団体」を募集します 対象区間 ～北上川水系(宮城県内)・鳴瀬川水系・鳴子ダム～

北上川下流河川事務所及び鳴子ダム管理所は、河川協力団体制度に基づき、北上川水系(宮城県内)、鳴瀬川水系、鳴子ダム管理所内の国管理区間について、「河川協力団体」を募集します。

河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO法人等の民間団体を支援するものです。

募集対象は、河川協力団体として河川の維持、河川環境の保全等の活動を適正かつ確実に行うことができると認められる法人等です。

平成25年6月の「水防法及び河川法の一部を改正する法律」により、河川協力団体制度が創設され、現在北上川水系(宮城県内)では、7団体が河川協力団体として指定されています。

河川協力団体に河川管理のパートナーとして活動していただくことで、地域の実情に応じ、多岐にわたる河川管理の充実が図られるものと期待されています。

【募集期間】 令和2年11月 6日(金) から  
令和2年12月18日(金) まで

【募集要項】 別添資料をご参照下さい。  
※様式等のデータについては、北上川下流河川事務所ホームページから入手が可能です。

北上川下流河川事務所記者発表についてはホームページでご覧になれます。  
ホームページアドレス【 <http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/> 】

鳴子ダム管理所記者発表についてはホームページでご覧になれます。  
ホームページアドレス【 <http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/> 】

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

### 問い合わせ先



#### 国土交通省 北上川下流河川事務所

住所：宮城県石巻市蛇田字新下沼80 電話：0225-95-0194(代表)

とやま ひさのり

技術副所長 外山 久典(内線205)

ながさき まさえ

占用調整課長 長崎 正恵(内線341)

#### 国土交通省 鳴子ダム管理所

住所：宮城県大崎市鳴子温泉字岩渕2-8 電話：0229-82-2341

くどう まさる

専門職 工藤 勝(内線302)

# 河川協力団体募集要項

## 1 河川協力団体指定制度の概要

河川協力団体指定制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う民間団体等を支援するものであり、これらの団体を河川協力団体に指定し、河川管理者と連携して活動する団体として法律上位置づけることにより、自発的な活動を促進しようとするものです。

そのため、河川協力団体の指定は、要件を満たす団体を広く募集し、申請のあった団体の中から、その資質、能力等を審査の上、指定を行います。

河川協力団体に指定されると、活動を行う上で必要となる河川法上の許可等について、河川管理者との協議の成立をもって足りることとなります。

## 2 特に期待している具体的な活動内容及び対象となる区間

### (1) 特に期待している具体的な活動内容

河川法第58条の9のうち、特に期待している具体的な活動内容は以下のとおりです。

<例示>

- ① 河川管理者に協力して行う河川工事又は河川の維持
  - ・河川敷（堤防含む）の清掃、除草 等
- ② 河川の管理に関する情報又は資料の収集及び提供
  - ・不法投棄の監視や、河川の安全利用、動植物の生息に関する情報収集や提供 等
- ③ 河川の管理に関する調査研究
  - ・河川に生息する動植物や、水質に関する調査研究 等
- ④ 河川の管理に関する知識の普及及び啓発
  - ・ハザードマップの作成、防災情報の普及啓発、安全利用講習や環境学習会の開催 等
- ⑤ 上記に掲げる活動に附随する活動
  - ・上記を実施するために必要な草刈りや清掃、事前告知 等

### (2) 対象となる区間

上記(1)の活動を実施していただく区間は、北上川下流河川事務所管内、及び鳴子ダム管理所管内です。具体的には下記区間内となります。

【北上川下流河川事務所管内】

◆北上川水系

- ・北上川 岩手県、宮城県境より追波湾に至る
- ・旧北上川 北上川分流点より石巻湾に至る
- ・江合川 大崎市地先より旧北上川合流点に至る
- ・支川 北上川合流点より下記の地点に至るまで  
(追波川0.51km、新江合川5.20km)

◆鳴瀬川水系

- ・鳴瀬川 大崎市三本木地先より石巻湾に至る
- ・吉田川 黒川郡大和町地先より鳴瀬川合流点に至る
- ・支川 鳴瀬川合流点より下記の地点に至るまで  
(多田川3.50km、鞍坪川1.10km)  
(善川3.96km、竹林川4.20km)

※北上川下流河川事務所管内の管轄エリアは下記 URL から確認してください

<http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/outline/>

【鳴子ダム管理所管内】

・鳴子ダム管理区間

左岸：大崎市鳴子温泉字岩渕地先～鳴子温泉鬼首字轟地先

右岸：大崎市鳴子温泉字柳木地先～鳴子温泉鬼首字久瀬下地先

なお、申請に当たり、活動を希望する区間を申請してください。

また、複数の事務所、管理所の管理区間で活動を希望する場合は、いずれか1つの窓口申請してください。

### 3 申請資格

申請を行うことができる者は、法人又は河川法施行規則（昭和40年建設省令第7号）第33条の8に規定する団体（以下「法人等」という。）であって、次に掲げる要件のいずれにも該当するものとします。

また、2（2）対象となる河川区間において、直近おおむね5年間にわたり、河川管理に資する非営利活動を継続的に行っていることが必要です（7（2）審査基準参照）。

- ①代表者が定まっていること。
- ②事務所の所在地、構成員の資格、代表者の選任方法、総会の運営、会計に関する事項その他当該法人等の組織及び運営に関する事項を内容とする規約その他これに準ずるものを有していること。
- ③適切な経理事務及び会計処理が行われていること。
- ④法人等の構成員（役員を含む。）が5名以上いること。
- ⑤申請時点において、法人等の設立後5年以上（特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第10条第1項の規定に基づく認証を受けた法人にあ

- っては、当該認証を受ける前の活動期間を含む。)が経過していること。
- ⑥宗教活動又は政治活動を活動目的としていないこと。
  - ⑦暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）又はそれらの利益となる活動を行う者でないこと。
  - ⑧直近1年間の税を滞納していないこと。
  - ⑨公序良俗に反するなど著しく不誠実な行為を行っているとは認められないこと。
  - ⑩河川協力団体の指定を受けた場合に、河川協力団体としての活動以外は、河川協力団体と称して活動を行わないことを誓約できること。

#### 4 申請書類

(1) 河川協力団体の指定を受けるために申請を行う法人等は、別添申請書に、以下に掲げる書類を添えて提出してください。

- ア 法人等の規約その他これに準ずるもの並びに会員名簿その他の法人等の構成員の数が記載されているもの（任意様式）
- イ 直近おおむね5年間の活動実績報告書
- ウ 指定後おおむね5年間の活動実施計画書
- エ 法人等の監査報告書又は収支計算書（任意様式）
- オ 法人等の納税証明書（課税対象団体である場合に限り。）（任意様式）
- カ 3 申請資格⑥、⑦、⑨の要件を満たすことを確認する書類
- キ 3 申請資格⑩の要件を満たすことを証する書類
- ク その他、河川管理者が必要と認める書類

(2) 申請に当たっての留意事項

- ア 提出された書類は、返却いたしません。
- イ 申請に要する一切の費用は、申請者の負担とします。
- ウ 提出された書類は、本審査以外の目的には使用しません。

#### 5 募集期間

令和2年11月6日（金）から令和2年12月18日（金）まで

#### 6 提出先

(1) 以下の提出先に、持参又は郵送により提出すること。  
ただし、持参の場合は、土曜日、日曜日、祝日を除く、午前9時から午

後5時までとし、郵送の場合は、募集期間内必着とする。

【北上川下流河川事務所管内】

〒986-0861

宮城県石巻市蛇田字新下沼80

東北地方整備局 北上川下流河川事務所 占用調整課

TEL 0225-95-0194 (代表)

【鳴子ダム管理所管内】

〒989-6806

宮城県大崎市鳴子温泉字岩渕2-8

東北地方整備局 鳴子ダム管理所

TEL 0229-82-2341

- (2) 申請を行うに当たり、希望する活動を行う区間が、河川の管理を管轄する地方整備局の事務所又はダム管理所（以下「事務所等」という。）の複数にまたがる場合には、いずれかの事務所等に提出すること。

## 7 審査方法

(1) 審査方法

河川協力団体の指定を行うに当たり、事務所等に、審査会を設置し、申請書類の確認及び審査を行います。

なお、地方整備局長等は、委員会を設置し、審査会の報告の内容について意見を聴くものとします。

(2) 審査基準

- ① 申請時に提出のあった活動実績報告書の審査については、以下に掲げる基準に基づき審査を行います。
  - (ア) 継続性：直近おおむね5年間にわたり、河川協力団体として活動を行う河川の区間において、河川管理に資する非営利活動を継続的に行っていること。
  - (イ) 公共性：上記の非営利活動が、河川管理者から後援された活動、河川管理者と共同で実施した活動その他の河川管理者との協力関係が認められる活動であること。
  - (ウ) 活動姿勢：直近おおむね5年間において、河川管理又は他の民間団体等の河川管理に資する活動の支障となり、又はそのおそれがある行為を行っていないこと。
- ② 申請時に提出のあった活動実施計画書の審査については、以下に掲げる基準に基づき審査を行います。